

新型コロナ感染拡大で

暮らしも医療も

大変!



こんな時に負担増するの?!

暮らしを支える
対策こそが
必要なのに...

医療

- 75歳以上の窓口負担を1割から2割に
- 紹介状なしで病院(200床以上)を受診した場合に追加負担
- 受診するたびに一定金額を窓口負担(1~3割)に上乗せ
- 花粉症治療薬、湿布、漢方薬などは保険から外す



介護

2020年の制度改定で...

- 施設の食費・居住費の補助を削減
- 利用料の月々の負担の上限額(高額介護サービス費の基準)を引き上げ

今後、さらに...

- ケアプラン作成に自己負担を導入
- 利用料2割、3割負担の対象者拡大
- 介護施設(老健、介護医療院など)の相部屋の室料負担を徴収
- 要介護1、2のホームヘルパーによる生活援助サービスを保険給付外に

「改革工程表」、財務省、厚労省資料に基づき作成

今こそ

医療・社会保障充実へ!みんなでストップ!負担増



75歳以上の窓口2割負担、介護サービス利用料引き上げなど 医療・介護の負担増の中止を求める請願署名

請願の趣旨

消費税率の10%への引き上げと景気の悪化、医療・介護の保険料の上昇などが、いま家計を強く圧迫しています。年金の受取額の抑制で、高齢者を中心に、将来の生活への不安が広がっています。こうした中、政府は全世代型社会保障などと称して、あらゆる世代でさらなる医療や介護の負担増と給付抑制を検討しています。

医療費の窓口負担や介護利用料の引き上げ、保険の効く範囲を狭めることは、医療・介護を受けられない人を増やし、国民の健康を脅かします。

医療や介護の財源について言うならば、患者・利用者の負担を増やすのではなく、大企業や富裕層に応分の負担をしてもらうことで確保すべきです。

すべての人が安心して医療と介護が受けられるよう、私たちは、患者・利用者の負担軽減とともに、以下の事項を求めます。

請願事項

一、医療の患者負担を増やさないでください

- 75歳以上の窓口負担の原則1割から2割への引き上げはしないこと
- 花粉症治療薬、痛み止め、漢方薬など、市販品のある薬の保険外しをしないこと
- 受診するたびに定額(100円または500円)を窓口負担に上乗せしないこと

一、介護の利用者負担を増やさないでください



お名前	ご住所 (同上、//は使わないでください)

※この署名は、憲法16条で保障された請願権にもとづいて行うもので、国会請願以外の目的に使用しません。

(取扱い医療機関、団体)